



2026年12月期 第2四半期 (中間期) 決算短信 (IFRS) (連結)

2026年8月6日

上場会社名 株式会社 CLホールディングス

上場取引所

東

コード番号 4286 URL <https://www.clholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 内川 淳一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画・管理管轄

(氏名) 野田 直樹

TEL 050-1741-5549

半期報告書提出予定日 2026年8月7日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第2四半期 (中間期) の連結業績 (2026年1月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年中間増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に 帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	17,889	4.6	725	120.5	663	127.9	429	199.8	505	233.0	487	190.9
2025年12月期中間期	17,105	△6.4	328	—	291	—	143	—	151	43.4	167	—

	基本的1株当たり中間利益		希薄化後1株当たり中間利益	
	円 銭		円 銭	
2026年12月期中間期	47.12		47.06	
2025年12月期中間期	13.95		13.95	

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
2026年12月期中間期	23,314		8,196		8,197		35.2	
2025年12月期	24,684		7,917		7,841		31.8	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
2025年12月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2026年12月期	—	0.00			
2026年12月期 (予想)			—	31.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年 1月 1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する 当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	5.1	1,700	21.1	1,600	21.8	1,100	74.9	102.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
① IFRSにより要求される会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)				
① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期中間期	11,552,731 株	2025年12月期	11,552,731 株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	806,142 株	2025年12月期	819,030 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年12月期中間期	10,737,006 株	2025年12月期中間期	10,892,113 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付資料3ページ目「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報	2
（１）経営成績に関する説明	2
（２）財政状態に関する説明	3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
２．要約中間連結財務諸表及び主な注記	4
（１）要約中間連結財政状態計算書	4
（２）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	6
要約中間連結損益計算書	6
要約中間連結包括利益計算書	7
（３）要約中間連結持分変動計算書	8
（４）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項	11
（継続企業の前提に関する注記）	11
（重要な後発事象）	11
（セグメント情報等の注記）	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド消費の底堅さ等により、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、わが国を取り巻く環境は、中東情勢の緊迫化・長期化や日中関係の緊張等に伴う地政学リスクの高まり、資源価格の高騰による物価上昇に加え、金融資本市場変動の影響もあることから、世界経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

一方で、当社グループが事業を展開する広告・販促市場およびエンターテインメント関連市場に関して、まず、広告・販促市場においては、小売・メーカー企業に加え、外食企業においてもＩＰ（知的財産）とコラボレーションしたキャンペーンや施策が増加しており、ＩＰが有する認知度やファンとの結びつきを活用した販促手法が幅広い業種に広がりを見せています。エンターテインメント関連市場においても、ＩＰを起点とした力強い成長が続いており、推し活（注１）市場の拡大や体験型消費（コト消費（注２））への需要の高まりを追い風に、今後も持続的な成長が見込まれています。

当社グループは、こうした成長市場において、ＩＰを活用し、「エクスペリエンス（体験価値）」と「エンターテインメント」を掛け合わせた「エクス・テインメント（注３）」ビジネスを加速してまいりました。具体的には、PMDサービス（注４）、限定流通サービス（注５）およびテーマカフェサービス（注６）等を通じて、エクス・テインメント（エンタメ顧客体験価値）という独自の価値をお客様にお届けするとともに、ＩＰと消費者を複数の商品・サービスでつなぐことのできる独自のポジションを確立しています。

グループ中期戦略としては、引き続き「グループシナジーを高めて、収益力をさらに強化する。」を掲げ、以下のポイントを重点的に進めてまいります。まず注力する事業領域を、マーケティング事業領域、ロケーションベースドエンターテインメント事業領域（注７）およびマーチャンドライジング事業領域の３つに絞り、領域運営を起点としたグループシナジーの最大化を通じて、収益力の強化を図ります。また、各事業領域においてビジネス構造の転換を図りながら、事業ポートフォリオの最適化を推し進めます。あわせて、新規事業、海外展開、M&A、人的資本やAIに対して、適正なバランスで適正な収益性を確保しながら継続的に投資を行っていく考えです。当第２四半期においては、ロケーションベースドエンターテインメント事業領域における取り組みとして、人気ＩＰ「ちいかわ」を活用した「ちいかわベーカーリー OSAKA」を出店するなど、テーマカフェの多角化が進行しました。

当中間連結会計期間における当社グループの経営成績は、まず売上収益に関しては、ロケーションベースドエンターテインメント事業領域のフードエンターテインメント事業およびマーチャンドライジング事業領域のエンタメMD事業において減収となったものの、マーケティング事業領域のプロモーション事業および流通エンタメ事業が好調に推移したことにより、全体としては前年同期比で増収となりました。営業利益および親会社の所有者に帰属する中間利益に関しては、人件費を中心に販売費及び一般管理費が増加したものの、収益性の改善により売上総利益が増加したことにより、前年同期比で増益となりました。中期経営方針に基づくグループシナジーおよび収益力強化に向けた各種施策の取り組みが、着実に成果として現れてきております。

これらの結果、当中間連結会計期間における売上収益は17,889百万円（前年同期比4.6％増）、営業利益は725百万円（前年同期比120.5％増）、親会社の所有者に帰属する中間利益は505百万円（前年同期比233.0％増）となりました。

（注１）アニメやゲーム等のキャラクター、アイドルやアーティスト等の応援対象（推し）を、グッズ購入やイベントへの参加などを通じて応援する消費・活動のこと

（注２）商品そのものの所有ではなく、体験や経験そのものに価値を見出す消費行動のこと

（注３）「エクスペリエンス」と「エンターテインメント」を掛け合わせた造語で、エンタメ顧客体験価値のこと

（注４）プロモーション&マーチャンドライジングサービスの略語で、販促と物販を掛け合わせたサービスのこと

（注５）期間限定・場所限定・商品限定のコト需要とコト消費を創り出す流通サービスのこと

（注６）ＩＰを活用したカフェ空間、オリジナルメニューや限定グッズなどを通じて体験価値を提供するサービスのこと

（注７）特定の物理的な場所で提供されるインタラクティブで没入感のあるエンターテインメント体験のこと

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて1,370百万円減少し、23,314百万円となりました。これは主に、棚卸資産および現金及び現金同等物が増加したものの、営業債権及びその他の債権およびその他の金融資産が減少したことによるものです。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて1,648百万円減少し、15,118百万円となりました。これは主に、営業債務及びその他の債務が増加したものの、借入金および未払法人所得税が減少したことによるものです。

（資本）

当中間連結会計期間末の資本は、前連結会計年度末と比べて278百万円増加し、8,196百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ380百万円増加し4,757百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2,122百万円（前期は1,916百万円の収入）となりました。これは主として棚卸資産の増加1,941百万円および法人所得税の支払額769百万円による資金の支出があったものの、営業債権及びその他の債権の減少3,145百万円、税引前中間利益663百万円および営業債務及びその他の債務の増加601百万円による資金の収入があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は271百万円（前年同期は341百万円の支出）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出93百万円およびその他の金融資産の取得による支出42百万円による資金の支出があったものの、その他の金融資産の売却及び償還による収入412百万円による資金の収入があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は2,034百万円（前年同期は809百万円の支出）となりました。これは主として長期借入による収入24百万円による資金の収入があったものの、短期借入金の純減額1,000百万円、長期借入金の返済による支出525百万円およびリース負債の返済による支出344百万円による資金の支出があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2026年2月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．要約中間連結財務諸表及び主な注記

（１）要約中間連結財政状態計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年 6 月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,376,712	4,757,113
営業債権及びその他の債権	11,012,532	8,392,867
棚卸資産	1,509,172	3,454,410
その他の金融資産	390,156	4,729
その他の流動資産	495,209	594,843
流動資産合計	17,783,784	17,203,964
非流動資産		
有形固定資産	849,887	901,156
使用権資産	2,161,735	1,908,216
のれん	614,765	614,765
無形資産	989,225	888,324
その他の金融資産	1,423,404	954,758
繰延税金資産	851,368	840,181
その他の非流動資産	10,752	3,504
非流動資産合計	6,901,140	6,110,908
資産合計	24,684,924	23,314,872

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年 6 月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	4,513,621	5,030,991
借入金	2,936,422	1,893,925
リース負債	647,704	643,460
未払法人所得税	774,135	275,560
その他の流動負債	1,222,252	1,218,976
流動負債合計	10,094,134	9,062,914
非流動負債		
借入金	4,042,600	3,583,850
リース負債	1,515,926	1,245,334
退職給付に係る負債	530,738	547,065
引当金	126,681	111,475
繰延税金負債	257,023	223,698
その他の非流動負債	200,040	344,149
非流動負債合計	6,673,010	6,055,572
負債合計	16,767,145	15,118,487
資本		
資本金	350,000	350,000
資本剰余金	6,495	△19,148
利益剰余金	8,100,999	8,342,318
自己株式	△723,862	△712,250
その他の資本の構成要素	108,232	236,363
親会社の所有者に帰属する 持分合計	7,841,864	8,197,282
非支配持分	75,914	△897
資本合計	7,917,779	8,196,385
負債及び資本合計	24,684,924	23,314,872

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

要約中間連結損益計算書

中間連結会計期間

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上収益	17,105,580	17,889,811
売上原価	△11,349,231	△11,705,970
売上総利益	5,756,349	6,183,841
販売費及び一般管理費	△5,478,363	△5,503,509
その他の収益	63,456	70,792
その他の費用	△12,603	△26,113
営業利益	328,838	725,011
金融収益	5,934	6,846
金融費用	△43,444	△68,049
税引前中間利益	291,328	663,808
法人所得税費用	△148,171	△234,644
中間利益	143,156	429,164
中間利益の帰属		
親会社の所有者	151,926	505,976
非支配持分	△8,769	△76,812
中間利益	143,156	429,164
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益(円)	13.95	47.12
希薄化後1株当たり中間利益(円)	13.95	47.06

要約中間連結包括利益計算書

中間連結会計期間

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年 1 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2026年 1 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
中間利益	143,156	429,164
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△1,488	7,412
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	63,483	18,490
項目合計	61,995	25,903
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△34,972	29,369
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△2,455	3,437
項目合計	△37,427	32,806
その他の包括利益合計	24,567	58,710
中間包括利益	167,724	487,874
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	176,494	564,686
非支配持分	△8,769	△76,812
中間包括利益	167,724	487,874

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	確定給付制 度の再測定	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る資本性金 融資産
2025年1月1日 残高	350,000	—	7,422,921	△582,085	—	△10,116
中間利益	—	—	151,926	—	—	—
その他の包括利 益	—	—	—	—	△1,488	63,483
中間包括利益	—	—	151,926	—	△1,488	63,483
自己株式の取得	—	—	—	△75,165	—	—
自己株式の処分	—	△1,726	—	18,563	—	—
配当金	—	—	△54,502	—	—	—
株式報酬	—	5,486	—	—	—	—
利益剰余金への 振替	—	—	55,973	—	1,488	△57,461
非金融資産への 振替	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額 等合計	—	3,759	1,471	△56,602	1,488	△57,461
2025年6月30日 残高	350,000	3,759	7,576,319	△638,688	—	△4,094

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					非支配 持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計	合計		
	在外営業 活動体の 換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ	合計				
2025年1月1日 残高	105,560	4,845	100,289	7,291,124	121,881	7,413,006	
中間利益	—	—	—	151,926	△8,769	143,156	
その他の包括利 益	△34,972	△2,455	24,567	24,567	—	24,567	
中間包括利益	△34,972	△2,455	24,567	176,494	△8,769	167,724	
自己株式の取得	—	—	—	△75,165	—	△75,165	
自己株式の処分	—	—	—	16,837	—	16,837	
配当金	—	—	—	△54,502	—	△54,502	
株式報酬	—	—	—	5,486	—	5,486	
利益剰余金への 振替	—	—	△55,973	—	—	—	
非金融資産への 振替	—	—	—	—	—	—	
所有者との取引額 等合計	—	—	△55,973	△107,344	—	△107,344	
2025年6月30日 残高	70,588	2,389	68,883	7,360,274	113,111	7,473,386	

当中間連結会計期間(自 2026年 1 月 1 日 至 2026年 6 月30日)

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素	
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	確定給付制 度の再測定	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る資本性金 融資産	
2026年 1 月 1 日 残高	350,000	6,495	8,100,999	△723,862	—	△25,655	
中間利益	—	—	505,976	—	—	—	
その他の包括利 益	—	—	—	—	7,412	18,490	
中間包括利益	—	—	505,976	—	7,412	18,490	
自己株式の取得	—	—	—	△77	—	—	
自己株式の処分	—	△11,689	—	11,689	—	—	
配当金	—	—	△193,206	—	—	—	
株式報酬	—	△13,954	—	—	—	—	
利益剰余金への 振替	—	—	△71,450	—	△7,412	78,862	
非金融資産への 振替	—	—	—	—	—	—	
所有者との取引額 等合計	—	△25,644	△264,656	11,612	△7,412	78,862	
2026年 6 月30日 残高	350,000	△19,148	8,342,318	△712,250	—	71,698	

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素		
	在外営業 活動体の 換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ	合計	合計	非支配 持分	資本合計	
2026年 1 月 1 日 残高	129,737	4,149	108,232	7,841,864	75,914	7,917,779	
中間利益	—	—	—	505,976	△76,812	429,164	
その他の包括利 益	29,369	3,437	58,710	58,710	—	58,710	
中間包括利益	29,369	3,437	58,710	564,686	△76,812	487,874	
自己株式の取得	—	—	—	△77	—	△77	
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	
配当金	—	—	—	△193,206	—	△193,206	
株式報酬	—	—	—	△13,954	—	△13,954	
利益剰余金への 振替	—	—	71,450	—	—	—	
非金融資産への 振替	—	△2,028	△2,028	△2,028	—	△2,028	
所有者との取引額 等合計	—	△2,028	69,421	△209,267	—	△209,267	
2026年 6 月30日 残高	159,106	5,558	236,363	8,197,282	△897	8,196,385	

(４) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年 1 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2026年 1 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	291,328	663,808
減価償却費及び償却費	637,462	562,986
金融収益及び金融費用	37,509	61,202
棚卸資産の増減額（△は増加）	△101,335	△1,941,019
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	2,142,893	3,145,565
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△976,556	601,563
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	13,028	16,327
未払消費税等の増減額（△は減少）	32,433	△194,751
未払賞与の増減額（△は減少）	35,381	△2,252
その他の増減額	114,920	40,167
小計	2,227,067	2,953,596
配当金の受取額	3,724	6,581
利息の支払額	△43,444	△67,104
法人所得税の支払額	△270,167	△769,867
その他	△1,054	△1,078
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,916,125	2,122,127
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△130,723	△93,604
有形固定資産の売却による収入	782	—
無形資産の取得による支出	△62,499	△5,364
その他の金融資産の取得による支出	△246,564	△42,366
その他の金融資産の売却及び償還による収入	113,694	412,375
その他	△16,620	248
投資活動によるキャッシュ・フロー	△341,931	271,288
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△4,437,725	△1,000,000
長期借入金の返済による支出	△326,180	△525,747
リース負債の返済による支出	△499,008	△344,212
自己株式の取得による支出	△75,165	△77
長期借入による収入	4,584,000	24,500
配当金の支払額	△54,935	△188,542
財務活動によるキャッシュ・フロー	△809,014	△2,034,079
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27,527	21,063
現金及び現金同等物の増加額	737,651	380,401
現金及び現金同等物の期首残高	4,756,730	4,376,712
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,494,381	4,757,113

（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能で取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、マーケティングサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。